

報道機関各位

一般財団法人 とうほう地域総合研究所
理事長 阿部 隆彦

「今年はこうなる！2020年の景気見通し」 ～県内の企業経営者へのアンケート調査結果について～

2020年を迎えるにあたり、当研究所では毎年恒例の「景気見通しアンケート」を福島県内の主要企業経営者にお願ひし、67社から回答を得ました。今般、アンケート結果についてとりまとめましたので、お知らせいたします。

なお、詳細は本日発行の当研究所機関誌「福島の進路」2020年1月号及び当研究所ホームページに掲載いたします（[福島の進路 調査レポート](#)）で検索、または右のQRコードをご利用ください。



記

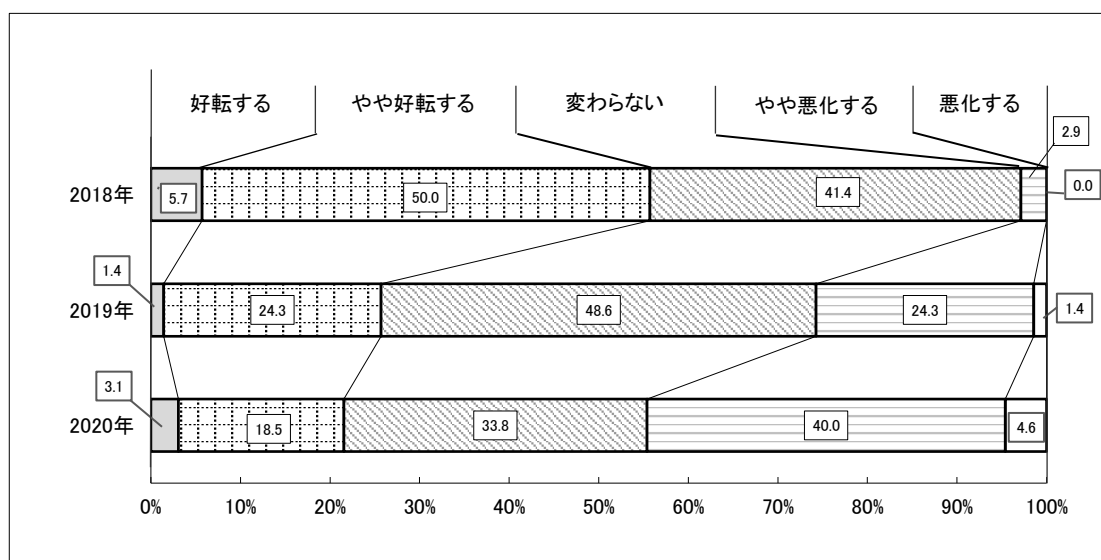
1. 国内景気の見通し

Q. 2020年の「国内景気」について、2019年と比べてどのように判断しますか？

～昨年に続き、悪化する予想が大幅に増加～

	2018年	2019年 (a)	2020年 (b)	前回比増減 (b)-(a)
好転する・やや好転する	55.7%	25.7%	21.5%	△4.2 ㊦
変わらない	41.4%	48.6%	33.8%	△14.7 ㊦
やや悪化する・悪化する	2.9%	25.7%	44.6%	18.9 ㊦

※小数点第二位を四捨五入しているため、前年比増減が合致しない場合や下記図表と一致しない場合あり(以下同)



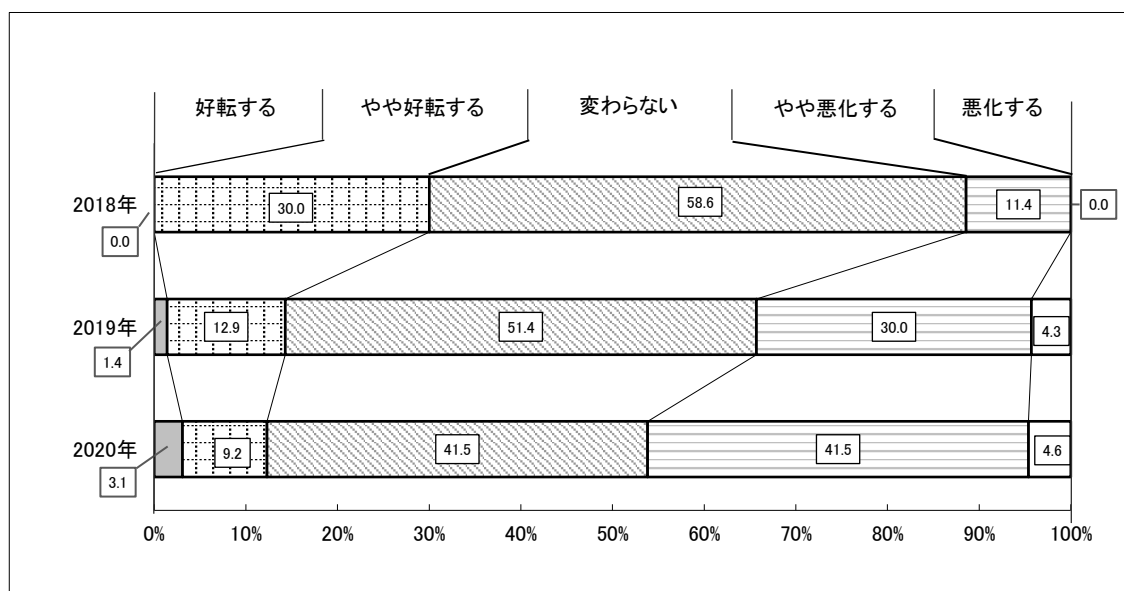
「好転する・やや好転する」が 21.5%(前回比△4.2 ㊦)とわずかに減少、「変わらない」が 33.8% (同△14.7 ㊦) と大幅に減少する一方、「やや悪化する・悪化する」が 44.6% (同+18.9 ㊦) と大幅に増加した。前々回の 2018 年調査と比較すると「好転する・やや好転する」は 34.2 ㊦の大幅減少、「やや悪化する・悪化する」は 41.7 ㊦の大幅増加という結果となった。米中貿易摩擦がさらに混迷の度合いを深め世界経済にも大きな影を落としていることに加え、地方での景気回復の足音がいまだ遠く、また、人手不足や消費税率アップの影響の懸念などが要因ではないかと考えられる。

2. 県内景気の見通し

Q.2020 年の「県内景気」について、2019 年と比べてどのように判断しますか？

～国内景気同様、悪化する予想が増加～

	2018 年	2019 年 (a)	2020 年 (b)	前回比増減 (b)-(a)
好転する・やや好転する	30.0%	14.3%	12.3%	△2.0 ㊦
変わらない	58.6%	51.4%	41.5%	△9.9 ㊦
やや悪化する・悪化する	11.4%	34.3%	46.2%	11.9 ㊦



県内景気の見通しについては「好転する・やや好転する」が 12.3%で前回比 2.0 ㊦のわずかな減少であったが、「変わらない」が 9.9 ㊦減少し 41.5%、「やや悪化する・悪化する」が 11.9 ㊦増加し 46.2%となった。国内景気と同様、米中貿易摩擦や消費税増税の影響などに加え、復興需要のさらなる縮小や、台風 19 号など昨年自然災害の直接的被害や間接的影響を受けた企業も多いことなどが要因と思われる。

以上

本件に関するお問い合わせ先
 とうほう地域総合研究所 担当：佐山
 TEL 024(523)3171